

# 崎戸商船株式会社 第三セクター等経営健全化方針

## 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年2月21日  
作成担当部署 長崎県 西海市 さいかい力創造部 情報交通課

## 2 第三セクター等の概要

法人名 崎戸商船株式会社  
代表者名 木原 廣道  
所在地 長崎県佐世保市万津町7番3号  
設立年月日 昭和36年3月27日  
資本金 10,000 千円【 当該地方公共団体の出資額(出資割合) 2,000 千円( 20 % ) 】  
業務内容 一般旅客定期航路事業(友住～佐世保航路)

## 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

崎戸商船株式会社が運航する「友住～佐世保航路」は、各寄港地の人口は年々減少傾向にあり当該航路を取り巻く環境は年々厳しさを増している。しかしながら、江島、平島の島民にとっては唯一の海上交通機関であり、医療機関への通院や生活用品買出し等に必要不可欠な航路となっている。

現状の運行は、航路維持のために国庫補助金及び県費補助金の交付を受けて運航しているが、補助金の支給が年度末となり、年度途中の運営資金を市中銀行より融資を受けている状況で、この融資額に制限があるため不足する部分を西海市が貸付している状況である。

貸付については、江島、平島の島民にとって必要不可欠な航路であることから、経営状況をしっかり把握した上で、崎戸商船株が経営破綻した場合などに西海市が債務を負うことがないように財政的なリスクを考慮し、航路維持のために行っている。

## 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

崎戸商船株式会社が運航する「友住～佐世保航路」は上五島町(友住)・西海市(平島)・西海市(江島)・西海市(崎戸町本島)・佐世保港間の本土と離島をつなぐ唯一の交通手段であり、極めて公共性が高く、島民の安全安心な生活のために必要不可欠な航路であり重要な使命を有している。

平成6年11月に就航したフェリー(フェリーみしま 271トン)については、船齢が24年を迎え、老朽化により安全運航に支障を来す恐れや船舶修諸経費の増加が懸念されるところであり、平成31年度に就航予定の新造船の運航が待たれるところである。

本航路が持続可能で安全な航路として安定的な経営を行うためには、修繕費、燃料費、人件費などの経営コストの一層の削減に加え、利用者拡大方策を経営改善の両輪として進めることが必要である。

以上により、航路経営の抜本的見直しの柱となる省エネ船舶へのリプレースをはじめ、ダイヤ見直しによる利便性の向上、世界遺産登録(新上五島町 頭ヶ島天主堂)を契機とした島外利用者の取り込みなどを、航路事業者、地域住民、関係機関、行政の連携体制の中で検討強化し、推進していくものとする。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

1. 航路改善計画書(①省エネ型フェリー建造による利便性向上と運航コストの削減、②新船導入にあわせた適正な運航体制の構築、③母港の見直し(友住港への集約)による燃料費削減、④利用者ニーズに対応した利便性の高いダイヤ編成、⑤運賃収入の拡大と島民割引等の導入検討、⑥官民一体となった交流人口の拡大と島外利用者の取り込み強化、⑦貨物需要の営業強化、⑧効率的な運転資金の調達方法の検討、⑨長期的視点にたった継続的な経営効率化と関係者間の連携強化 平成27年2月策定)の動向を注視し、経営健全化を図る。

2. 財政支援については、今後も江島、平島島民の生活の足を守るため継続することとするが、十分精査した上で適正に貸付することとする。

(参考)

## 6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(千円)		
		27年度	28年度	29年度
	資産総額	54,004	29,478	36,942
	(うち現預金)	(37,841)	(15,993)	(19,090)
	(うち売上債権)	(10,166)	(9,987)	(12,481)
	(うち棚卸資産)	(733)	(1,102)	(1,079)
	負債総額	136,675	106,957	122,506
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	(10,000)	(10,000)	(10,000)
	純資産額	-82,671	-77,479	-85,564

損益計算書から	項目	金額(千円)		
		27年度	28年度	29年度
	経常収益	46,781	47,702	43,644
	経常費用	141,591	132,204	137,870
	経常損益	-94,809	-84,502	-94,226
	経常外損益	109,394	89,693	86,142
	当期純損益	14,585	5,191	-8,085